

クマに注意！

— 思わぬ事故をさけよう —



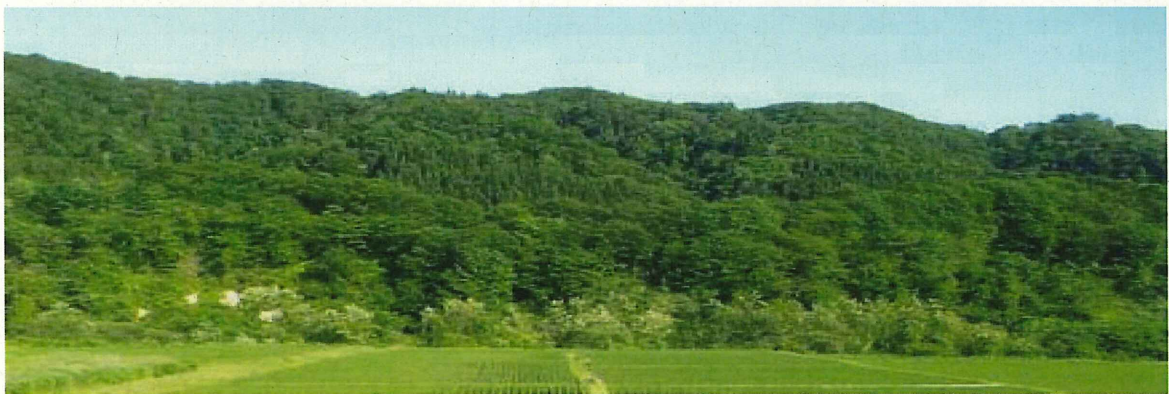
ツキノワグマとヒグマは日本を代表する動物です。アニメに出てくるクマはユーモラスでやさしそうです。でも、本物のクマは力が強く、突然出会うと攻撃することもあります。この冊子では、クマに会わないための工夫、クマに出会ったときの注意事項を紹介します。



環境省

日本の森とクマ

日本の国土のおよそ4割にクマ（ヒグマ・ツキノワグマ）が生息しています。生息地のほとんどは森林ですが、特にどんぐり類が不作の年は食物を求めてクマの行動範囲は広がり、本来の生息地を離れ、人里近くに近づくことがあります。このときに人との出会い、農作物被害や林業被害などの問題を引き起こすことがあります。

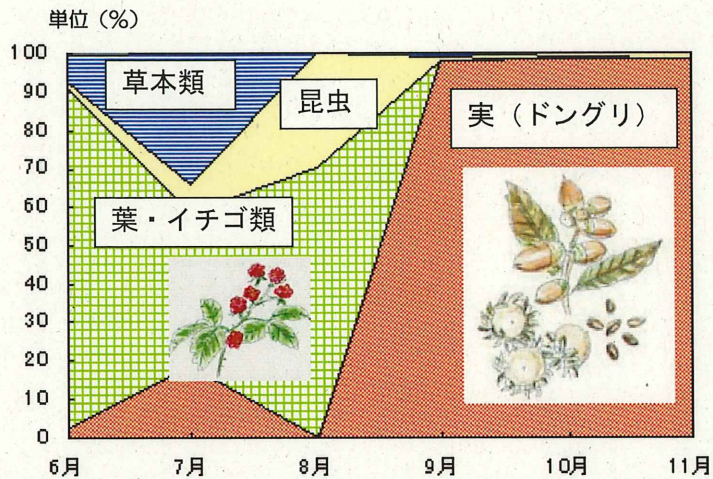


かつて里山などの山林は人手をかけて管理されてきました。このことがクマなどの野生動物が人里に近づきにくくしていたと考えられています。しかし、現在では山村地域の過疎化や高齢化など、社会環境の変化により、里山や山林を手入する活動が減っています。

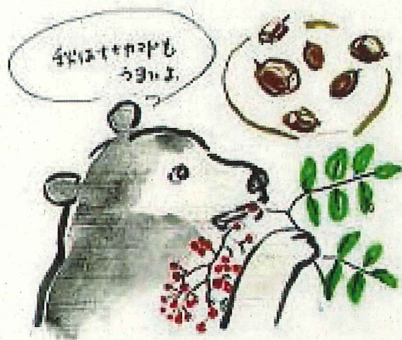
山奥から人里まで切れ目なく続く森林、山奥は自然に任せたゆたかな環境に、人里近くの山林は積極的に利用するなど、人と動物のすみわけにつながるような取り組みが求められています。

クマの食べ物と生息地

ツキノワグマの食物の9割以上は植物です。春には、芽吹いたブナの葉やさまざま植物を食べます。夏はアリやハチなどの昆虫を多く食べます。秋になると、どんぐりなど木の実をたくさん食べるようになります。



食べ物の季節変化

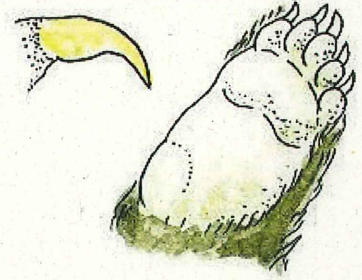


●落葉広葉樹林とどんぐり●

ツキノワグマがおもに生活するのは、落葉広葉樹林の森林です。そこに生育するブナ・コナラ・ミズナラなどの実(どんぐり)を餌としています。このような森林はツキノワグマにとって非常に重要な場所です。

クマの生態

クマは小さな音でも聞き分ける能力（聴覚）、イヌのようにわずかなニオイをかぎわける能力（嗅覚）をそなえた大型動物で、優れた運動能力をもっています。



- ◎木登り、穴ほりのために強い力と鋭いツメを持っています。
- ◎人より速く、時速 40km 以上で走ることができます。
- ◎水泳も得意で、木に登ることもできます。

12月～4月まで冬眠します。
(地域や年により変わることもあります)



冬眠から覚めると山菜などを食べます



冬 春
秋 夏



6月頃に繁殖期

秋になると木の実を
食べます




夏はハチミツや昆虫を
探して食べます

ツキノワグマと人との関わり


もしクマに出会ったら！！

注意していても、クマに出会ってしまうかもしれません。


もしクマに出会ったら次のように行動してください。

 遠くにクマがいることに気がついたとき

- 落ち着いてその場から離れましょう。
- クマをおどろかすので、大声を出したり、走って逃げるのはやめましょう。写真を撮るためフラッシュを使うのも止めましょう。

 近くにクマがいることに気がついたとき

- 落ち着いてゆっくりとその場から離れましょう。その際、クマに背を向けずに、クマを見ながら、ゆっくり落ち着いて後退してください。

 すぐ近くで出会ったとき

- あわてた人の急な動作で驚いて、攻撃してくることがあるので、冷静に、あわてず、クマが立ち去ってからその場を離れましょう。
- 突発的におそわれたら、両腕で顔や頭をガードして、大ケガを避けましょう。

